

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成24年3月1日(2012.3.1)

【公表番号】特表2011-514668(P2011-514668A)

【公表日】平成23年5月6日(2011.5.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-018

【出願番号】特願2010-546103(P2010-546103)

【国際特許分類】

H 0 1 L 21/265 (2006.01)

C 2 3 C 14/48 (2006.01)

H 0 1 J 49/30 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 21/265 6 0 3 A

H 0 1 L 21/265 Z

H 0 1 L 21/265 F

H 0 1 L 21/265 Q

C 2 3 C 14/48 Z

H 0 1 J 49/30

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月16日(2012.1.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 6】

前記希ガスは、アルゴンを含む、請求項 5 に記載の方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 6】

図 3 は、エタン及びアルゴンを処理ガスとして用いてのピームスペクトルを例示するグラフである。本実施例では、アルゴンをエタンと一緒に、希釈ガスとして導入した。同一の分子組成を有するピークには、図 3 で同様な番号をつけている。従って、図 2 の場合と同様に、ピーク 3 0 0、3 0 1、3 0 2 は、それぞれ H^+ 、 H_2^+ 、 H_3^+ に対応する。このテストは、23 . 7 sccmのエタン及び1 . 5 sccmのアルゴンのガス流を用いて実施した。さらに、アーク電圧は80Vとし、ソース磁石電流は0 . 8 Aとした。